

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

今後の感染防止対策の柱となるワクチン接種については、希望する方々への速やかな接種が期待されるが、接種を担う医療従事者の確保等が困難なため、希望者に対する接種を終えるまでに時間を要する町村もあることから、住民に不安を与えないよう、市町村別の接種状況については慎重に取り扱うとともに、マスコミや道民に対して丁寧な説明を行ってほしい。

1-②

現在の道内の感染状況は承知しているが、札幌市内のワクチン接種をさらに加速化していただきたい。職場や大学など国の方針に従って市民のワクチン接種の利便性を高めていただきたい。

1-③

高齢者施設では、職員と入居者のワクチン接種が始まったが、施設では、副反応に備えるためにも一度に多くの職員・入居者に接種することができないため、全員が2回の接種を終えるのに通常より期間を要する。また、この期間は感染対策にいつも以上に注意も必要であり、アルファ株・デルタ株などの変異種に備えるためにもワクチン接種の早期の完了をお願いしたい。

1-④

依然医療の逼迫が続き、入院・宿泊療養・自宅療養の状況が改善されておらず、一方で新規感染者数が減少傾向にあることから気の緩みが生じやすい状況であることから、再度対策の周知徹底をお願いしたい。高齢者の集団接種の予約が芳しくないとの報道があったが、原因を明確にし対処する必要があると感じる。接種に関する手続きが煩雑という理由で接種を受けない人が出ないよう対応が必要ではないか。

1-⑤

ワクチン接種に関して、何が障壁なのかを明らかにして、接種の実施を加速してほしい。
変異株のスクリーニングについて、道の支援も検討してほしい。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

ワクチン接種に関し、住民に混乱を招かないように、事前に情報提供をしっかりとっていただきたい。

2-②

ワクチン接種については、市町村に対する供給量が定まらなると接種計画がたてられないため、早期の供給計画の提供を望む。